

NIHON HAIJIN BUNKO

# 日本 俳人 文庫

茅花流し  
岡野 等

日本俳人文庫42集 近代文藝社

一九九一年六月三〇日 発行

定価 一八〇〇円

(本体一七四八円)

著者

岡野 等

発行者

福澤 英敏

印刷

日本図書刊行会  
印刷部

日本俳人文庫 第42集  
〈茅花流し〉

発行所

〒112 東京都文京区  
目白台二・一三二

(株)近代文藝社

電話 03(三九四二)〇八六九

振替口座 東京 七・六八八七五

日本俳人

岡野

江苏工业学院图书馆  
茅花流し  
藏集书章

茅花流し



# 茅花流し



## 北海道

月 明 に 鮭 産 卵 の 水 は じ く

鮭 網 の 海 より 青 き 浮 子 動 く

果しなき野の枯夕陽落ちんとす

屋根青く塗り冬空に立ち向う

風吠えて荒野の草の雪に伏す

荒野いま旅人一人に雪狂ふ

雪しまきオホーツク渚さえ見せず

ふぐりまで凍てぬ遙かに茶房の灯

流水に陽上る焰したたらし

白鳥の嘴の雫の水輪なす

濡れしまま白鳥歩く雪の上

積舟の石透く海のつめたさに

平泉近辺

濡れゆけば萩散りやすし毛越寺

金  
色  
の  
佛  
の  
黙  
の  
夕  
時  
雨

勿  
来  
近  
辺

勿  
来  
い  
ざ  
茅  
花  
流  
し  
に  
吹  
か  
れ  
ゆ  
く

灯台へ寄せて涼しき波の影

潮音のふと絶ゆるとき花海桐

砂泣けば海の枯木の身をよぢる

まだ青き空に月浮き海鵜とぶ

鵜の崖へ怒濤があげる白き息

冬の鵜の薄暮を帰る毘の崖

かじかみて鵜を待つ一晷鵜捕小屋

鵜捕人待ち疲れては焚火たく

## 水戸

緑萼梅 ひらきて 緑失へり

枝垂梅 このみ匂ひこもりをり

日  
光

陽  
明  
門  
金  
を  
い  
ぶ  
せ  
り  
夕  
霧  
に

石  
の  
扉  
も  
霧  
に  
古  
り  
ゆ  
く  
葵  
門